

4月の行事案内

- 4月11日(土) 10:00~12:00
ぶちたのしいバードウォッチング①
~使いこなそう双眼鏡と望遠鏡、そして自分の耳!~ (定員 30名)
- 4月17日(土) 10:00~12:00
ベッコウトンボ観察会 (定員 40名) ※雨天時は4/24に延期
- 4月17日(土) 9:30~12:00
たのしい俳句教室①
- 4月18日(日) 9:30~12:00
子どもレンジャークラブ「チャレンジクラス」①
- 4月25日(日) 9:30~12:00
子どもレンジャークラブ「わくわくクラス」①
- 4月29日(木) 9:00~16:00
きらら浜自然観察公園春まつり ※コロナ対策のため、縮小する可能性あり
※表記のない行事の申込みは、原則実施日の2週間前から行います!

※楽しい俳句教室、
子どもレンジャークラブは
会員制のため、会員以外の
参加はできません

- ※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
- ※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料200円が必要です(18歳以下無料)。
- ※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

★★土曜・日曜・祝日のイベント案内★★

- ★ **バードウォッチング (11:00~12:00)**
レンジャーと一緒に公園内を歩いて鳥などの生き物を探します。
(雨天・荒天時や行事と重なる場合は中止します)
- ★ **楽しい工作教室 (14:00~15:00)**
自然の素材などを使って色々な工作を作ります。
※事前予約制で、定員は先着30名です!
※予約開始日は、ホームページをご覧ください。
- ★ **楽しい紙芝居 (15:00~15:30)**
きらら浜の生きものが主人公の楽しいお話です。
クイズもあるよ!
- ★ **ビデオ上映 (15:30~16:00)**
公園内で観察できる鳥たちの様子や、四季折々の野鳥ビデオを上映します。



3月は「ネームプレート」

★お知らせコーナー★

- **ラジオ放送** KRY山口放送(9:40頃)で、公園の様子をお伝えします。次回は3月6日(土)です。
- **新聞掲載** 毎月第一土曜日にサンデー山口「野鳥手帖」で季節の野鳥について連載中です。

*** SHINKO 自然観察センター ***
きらら浜自然観察公園 NPO法人野鳥やまぐち ***

- 住所 〒754-1277 山口県山口市阿知須 509-53 ● TEL 0836-66-2030 ● FAX 0836-66-2031
- ホームページ <http://kirara-h.com/> ● フェイスブック <https://www.facebook.com/kirarahama>
- Eメール kirara-m@gaea.ocn.ne.jp ● 休園日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28~1/4)
- 開園時間 午前9時~午後5時 ● ビジターセンター入館料 200円(18才以下無料。20名以上の団体は1名160円)

SHINKO 自然観察センター きらら浜自然観察公園だより

2021年 3月号 No.239



← アオサギ



カワウ →

3月の見どころは
変身する鳥たち



春になると鳥たちは子育ての準備を始めます。ウグイスやヒバリのようにきれいな声でさえずる鳥もいますが、体や羽の色が変わる鳥もいます。このように子育ての時期に変化する体の色のことを婚姻色と言ひ、色や形が変化した羽のことを繁殖羽と言ひます。

アオサギやカワウは2月頃から色が変わり始め、アオサギはくちばしと脚が赤くなり、胸や背中などの羽が伸びてきます。カワウは頭と脚のつけ根が白くなります。これらの鳥は、オスにもメスにも変化が出ます。

今の時期は、少しずつ変わっていく様子が見られるので、じっくり観察してみてください。

行事のお知らせ

ヨシ焼き

3月6日(土) 10:00~12:00

※ 荒天時は3月13日に延期

ヨシ焼きは、ヨシ原の環境を維持し、丈夫なヨシを育てるために行うもので、今年は西側半分を焼き払います。豪快に立ち上る炎は必見です。



- ※ 安全確保のため、園路の一部を立ち入り禁止にします。
- ※ ビジターセンターで見学する場合、19歳以上の方は入館料200円が必要です。



3月の行事案内



14日(日) 10:00~12:00

バードウォッチング入門⑫

～鳥たちの衣替え～(定員30名)

春になり、繁殖羽へと換羽した鳥たちの姿を観察します。
申込みは2月28日(日)からです。

- ・3月20日(土)「たのしい俳句教室⑫」、3月21日(日)「子どもレンジャークラブ⑫」は、会員制のため、会員以外の参加はできません。
- ※各行事は、今後の状況により変更する場合があります。その際は、HP等でお知らせいたします。詳細等は当園にお問い合わせください。

- ※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
- ※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料200円が必要です(18歳以下無料)。
- ※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

どんな行事だった？

バードウォッチング入門⑩

1月10日(日)に、バードウォッチング入門⑩「冬の猛禽類」を実施しました。当日は雪が積もっており、普段見られない野鳥や動物の足跡を観察することが出来ました。また、観察中には猛禽類の姿だけでなく、猛禽類が生きものを食べた形跡(食痕)も見つけました。



子どもレンジャークラブ⑩

1月17日(日)に実施した子どもレンジャークラブでは、普段入ることの出来ないヨシ原の中を歩きました。後半はヨシ原の中で宝探しゲームをし、ヨシ原にすんでいる生き物のカードを探しました。ヨシ原の中は見通しが悪く、身を隠すのに良い場所だということが分かりました。



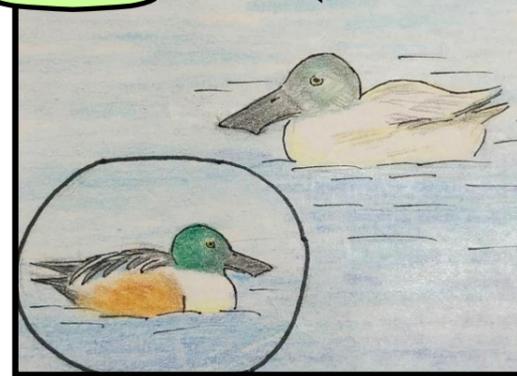
レンジャーからの挑戦状！

公園の生き物についてのクイズです。全問正解すれば、キミもレンジャーになれるかも。さあ、何問わかるかな？

1. 潮が引いて干潟が出ると、マガモやカルガモが干潟を歩いていることがありますが、何をしているのでしょうか？
① 干潟のカニを食べている ② 干潟の泥を食べている ③ 散歩している
2. スグロカモメは干潟でカニを捕まえて食べますが、どうやってカニを食べるのでしょうか？
① くちばしで殻を割って食べる ② 丸呑みにする ③ 脚をとって、体だけ食べる

こたえはウラにあるよ

レンジャー絵日記



「おがういっか(金)晴れ」
淡水池で首から下が白色のカモを
発見。新種かと思いましたが、顔の色
やへちばしの形を見るとハシロコガ
モのオスでした。野生の生き物はまれ
に生まれつき普通の模様にならない
ことがあります。カモ類のオスはメス
へのアピールのために鮮やかな模様
になることが多いですが、このオ
スは模様がないので地味に見え、ヘア
をくむのか心配になりました。

きらら浜の自然情報



1月後半からモズのさえずりが聞こえるようになりました。さえずりというのは、主にオスが子育てのための縄張りを守るためや、メスへのプロポーズのために出すきれいな鳴き声のことです。モズのさえずりは「チュピチュピ」や「チュリリ…」など、小声で複雑に鳴きます。メジロやウグイスといった他の野鳥のさえずりを真似することで知られているので、じっくりと聞いてみてください。

まだ寒い日が続く、花の少ない時期ですが、2月後半になるとミチタネツケバナの花が咲き始めます。田んぼのそばなど、湿った場所に生えるタネツケバナに似ていますが、ミチタネツケバナは少し乾いた地面にも生え、園内では園路のそばでよく見られます。花は白色で2~3mmしかなく、目立つ花ではありませんが、2~3cmほどの上向きにつく実が特徴なので探してみてください。



きらら浜の野鳥図鑑107

キクイタダキ 全長10センチ

国内では春から夏の子育ての時期になると北海道や本州の高い山地で過ごし、山口県では冬鳥として移動してきます。日本で最も小さな野鳥のひとつで、頭のてっぺんにある黄色の模様をキクの花に例えて名前がついています。園内では樹林帯で見られることがあります。

